

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議 開催報告書

開催日時 令和8年2月18日 風楽里アルコーブにて	
当日あつまって頂いた委員の皆様	議 題
利用者 6人	①自己紹介
利用者家族（風楽里） 1人	②活動状況報告.
// （笑楽日） 1人	スライドショー
知見者 0人	③風楽里 自己評価 外部評価
市職員 1人	笑楽日 自己評価 外部評価
地域包括支援センター 1人	● 身体拘束適正化検討委員会
地域住民の代表者 1人	
事務局 3人	
職員介護従事者 1人	

1 自己紹介

2 活動状況報告 笑楽日、風楽里の日常の様子を、スライドショーや活動状況報告書を読みながら報告。

事務局・・・クリスマス、正月、節分という行事に加えて、毎日のレクレーションにも、季節感のある内容で楽しんでいただきました。

年未年始は風楽里の入居者さんは、ご家族との外出も多かったですが、軽い風邪症状の方も多くでました。静かなお正月を過ごしました。

3 風楽里 外部評価

委員の皆様のご協力ありがとうございます。頂いたご意見を掲載してまとめました。それらをもとに、来年度の目標を掲げさせていただきました。

「項目番号 15 番」 本人の大切にしてきた人や場所との関係が途切れないような、支援について。

一人ひとりの人生の最終章に関わる者としてその人なりの思い出の場所への外出の支援をしたい。と年間目標に掲げました。

ご家族にも協力頂こうと思います。

ご家族・・・良い事だと思うのでよろしくお願いします。

事務局・・・改めて正式に目標達成計画として提出させていただきます。

笑楽日 自己評価・外部評価

まとめたものを見て頂きながら、ご意見を伺いたいと思います。

今年度の自己評価は、主たる介護業務に携わっている勤務形態の方を、対象にしました。

ただ書き込むだけにならないように、前年度との比較や、振り返りを通して、次につながるようしたいと思います。

ご家族に向けた通信を新しくしました。

施設の紹介やご家族へのお便り等、発信力を高めていきたいがご意見を伺いたい。

高齢福祉課・・・行事の様子だけでなく体操や機能訓練などの様子も併せて発信してはどうか。

避難訓練の内容や、訓練中の様子も良いかと思えます。

ご家族・・・お便りに食事についてのコーナーを作ったり、施設として力を入れていることなど、アピールポイントを絞って発信しても良いと思う。

ご家族・・・通信で日頃の様子が分かってありがたく思っています。

地域の代表・・・毎年の自己評価で前年度と比較して大きな変化を出すことは簡単ではないですね。悪くならず現状維持を保つことも努力が必要なことだと思います。

事務局・・・地域の方との交流については、スペースの問題や、駐車場等のハード面が毎年の課題ですが、普段から気軽に来所して頂けるように、相談窓口としての役割や、地域包括センターとの連携も行うことができ、少しずつ認知されている様に思えます。貴重なご意見を頂き今後に生かしていきたいと思えます。

● 身体拘束適正化委員会

事務局・・・ただいまから身体拘束適正化委員会を開きます。委員の方引き続き宜しくお願いします。資料をお配りします。

当事業所では、利用者個々の状態を常に職員と情報共有して、それぞれに合ったリスク管理に努めています。

転倒転落からのけがの回避・・・こまめな巡回に加えて、床センサーマットや赤外線センサーを使用して、布団の巻き込み転落や、立ち上がり時にすぐに訪室できる対応。

ベッドの最低床や床マットレスの使用。ベッド柵でベッドを囲わない、立ち上がりがスムーズになるような家具の配置。

自由な移動のための歩行器や、車いすの使用。

何よりも、どうしてそうするのか、どう思っているのかの観察力を磨くこと。

自由を制限する、自由な行動を妨げることが、より大きなリスクになるということを理解する。

職員間で対応方法を統一し、ご家族とコミュニケーションを丁寧にはかり、身体拘束をしない方針を承知していただき、リスクについてのご理解を得ておく。

このような身体拘束を回避する体制をとっております。

今後も身体拘束廃止に向けてのいろいろなご意見や検討事例についてのご助言をよろしく願いいたします。

事務局・・・これで運営推進会議を閉会します。

以上 令和7年度 第6回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

報告者 伊丹